

羅針盤 No.93

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

*季節は巡りまた冬が来て・・というら、何かの歌詞のようですが、今年も又寒気と共に冬がやってきました。師走です。年初に立てたプランの達成率が気になる時期ですが、天災だけでなく世情も予期せぬことが多く、周りの状況がめまぐるしく変化した年だったように感じられます。世界中が不安定な年でしたから、いま大過なく年を越せることを感謝しましょう。

*東京オリンピック、パラリンピックまで1000日をきり、表彰台に立つアスリートに贈る金・銀・銅メダルを、全国各地から集めたリサイクル金属で作る「都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト」が4月から本格的に稼働しています。金・銀・銅あわせて約5000個のメダルを製作する予定。金9.6kg、銀1210kg、銅メダル用700kgの金属が必要とのこと。廃スマホだけで考えると800万台も集めなければなりません。小型廃家電リサイクルも含めて2019年までプロジェクトは続きます。皆が協力することで資源の有効利用となり、環境保全にも繋がります。

*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理をお受け致します。ヤードも広くなりました。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



☆羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの12月予測

営業部 Y の考察

- 鉄スクラップ** → 考察) 鉄スクラップは、11月は東京製鉄宇都宮工場特級価格が、31,000円/トンでスタートし、最終的には34,500円/トンまで上昇。初年来の高値を更新中。12月は、日本国内の鋼材需要の好調さ及び海外輸出の価格も上がっているため更に上りと思われます。
- 銅** → 考察) 11月はLME6,800ドル/トン国内銅建値820,000円/トンでスタートし、中盤に国内銅建値830,000円/トンに戻りましたが最終的には、LME6,800ドルを割込み国内銅建値810,000円/トン。12月に関しては、円高・中国の株価下落から下がると思われます。
- アルミ** → 考察) 11月はLME2,140ドル/トンでスタートし、最終的には2,030ドル台/トン。中国が環境対策でアルミが減産となり価格が上りましたが、後半の下げ状況からみると、12月は下がると思われます。
- プラスチック** → 考察) 中国の環境対策から品位の良いプラも売却が厳しくなっている。 廃プラスチックの有価対応は来年は殆ど出来ない。逆有償のサーマルリサイクルに荷物が集中。しかし、売却先の受入も狭まってきているため、処分費を考える前に出し先確保が必要となるでしょう。

11月予測の自己評価

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| 鉄スクラップ | ○ | アルミ | × |
| 銅 | × | プラスチック | ○ |



「はじめまして！」

はじめまして。 総務部人事課で採用を担当しております山下と申します。今回より合計4回にわたり、このコーナーを担当させていただきます。本紙の1/4を占めるコーナーに何を書かせていただくか！？ 悩んだ末にこんなラインナップを上げてみました。

- *リサイクル会社はグローバル課題の担い手 ～リサイクルとSDGs～
- *採用というお仕事
- *活動報告:e-lady21 環境教育チームの一員として

今回は上記のさわりをご紹介したいと思います。順番は変わるかもしれませんが予告編としてご覧ください。

リサイクル会社はグローバル課題の担い手 ～リサイクルとSDGs～
 「Sustainable Development Goals」(SDGs=「持続可能な開発目標」)とは国連が2015年に採択した2030年までの国際目標で、17の開発目標の中に169のターゲットが細かく設定されています。17の開発目標の中には、環境に係わってくる課題がたくさんあります。という事はこの課題に対してリサイクル会社ができることがたくさんあるという事。この記事を書いている時、タイムリーなことに経団連が7年ぶりに更新した企業行動憲章のサブタイトルがSDGsの達成となりました。ご興味のある方はぜひSDGsで調べてみてください。



採用というお仕事

東港金属に入社して2年とちょっと。以前のキャリアでもリクルーティングスペシャリストとして仕事をしてきました。ぜひお伝えしたいのは、採用は「人事の異色業務」ということです。企画、広報、広告宣伝、イベント + 管理、手法これが採用の仕事です。管理部門ではありませんが仕事内容はマーケティング寄り。こんな内容を考えています。

活動報告:e-lady21 環境教育チームの一員として

東京産業廃棄物協会(東産協)の女性部(e-lady21) 環境教育チームに所属して活動をしています。本年度東産協で担当している団体課題別人材支援事業の一環も兼ねた大学への出前授業では、全体のコンテンツ構成企画とコンテンツ作成、授業では業界と取り巻く環境のパートプレゼンを担当させていただいています。活動TIPSなどお伝えしたいと思います。

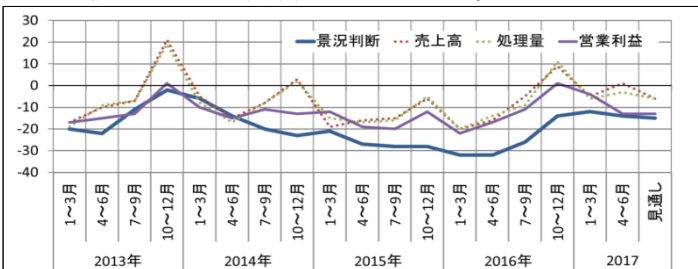
まずはさわりだけですが、今後の山下の記事が、何かの参考していただけるような記事になるよう頑張ります。

(総務部人事担当 山下 田鶴)

☆羅針盤

産業廃棄物処理業界 景況動向調査結果

今回は「羅針盤」No.68(2015年11月号)及びNo.82(2017年1月号)で紹介している「産業廃棄物処理業景況動向調査結果」を、再び取り上げました。今後も1年に1回位の目安でご紹介を続けたいと思います。本調査は、景況判断、売上高、処理量、契約単価、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数について、(公社)全国産業廃棄物連合会が四半期毎に調査を行っているものです。その結果は「D.I.*1」という指数化した指標を使って判断しております。次のグラフは、2013年1月からの景況判断、売上高、処理量、営業利益のD.I.推移データを約4年間半に亘り示しました。



売上高と処理量とは、D.I.も“動き”もほぼ同じ(決定係数*2=0.96)です。営業利益は処理量にやや近い動き(決定係数=0.74)をしておりますがD.I.は低めを示しております。景況判断D.I.は売上高や処理量との相関は余り見られませんが、営業利益及び設備投資との間で割合に良い相関(決定係数=0.49)を見ることが出来ます。D.I.の定義上やはり事業成績の良し悪しが、景況判断に影響するものであろうと思われます。前回でも述べましたが、これらのD.I.は10~12月の四半期に増える傾向があり、2013年(平成25年)の10~12月期が、本調査を開始した2009年(平成21年)以降で一番良い値を示しており、昨年の10~12月期がその値に近づいております。今年も12月を迎えましたので良い値が出ることを期待しております。

【参考】
 *1 D.I.: Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの各種判断を指数化したものです。
 *2 決定係数: 二組のデータ群を直線で回帰した時に、どの程度うまく当てはまっているかの目安を表します。決定係数は0~1の値を取り、1がもっとも精度が高く、目安として、「0.8以上 非常に良い」「0.5以上 良い」「0.25以上 まあまあ」「0.25以下 良くない」とされております。